

自分でできる 普段からの心掛け

●ご近所とのコミュニケーション

お互いのことを理解していると、いざというときに素早く行動できます。日頃からのご近所付き合いを大切にしましょう。

●防災訓練への参加・家族防災会議

最寄りの避難場所や家族間の役割を、しっかりと確認しましょう。

●非常持ち出し品の準備

避難場所での生活に最低限必要なもの、身元が分かるもの、医薬品（特に常用のもの）などを、いつでも持ち出せるようにしましょう。



いざというときに近所同士のチームワークが発揮され、また救助活動が円滑に行われるように、日頃からしっかりと準備をしましょう。

●家具類の転倒・落下防止

災害時の被害を最小限にするため、危険箇所を把握して予防しましょう。



災害への心構えや、最寄りの避難場所を掲載したパンフレットを配布中。

区役所 2階 18番窓口
1階 33番窓口

もっと詳しく パンフレット配布中

区役所 1階 9番窓口



災害時支えあいハンドブック

災害時の行動、日頃の準備を分かりやすく解説。



災害時の助け合い

平成 21 年度災害時要援護者避難支援モデル事業の成果を紹介。

災害時の活動

万が一の時は支援者がしっかりと要援護者をサポートします。



情報提供、安否確認

大雨などのときには避難準備の案内。震度4以上のときには安否の確認をします。



避難誘導、避難所生活の支援

複数人で要援護者をサポート。避難所では気配りや思いやりをもって接し、不安を和らげます。

これまでの取り組み



北野地区福祉のまち推進センター運営委員会での会議

北野地区では平成 19 年度から地域防災について検討を開始。住民の意識調査や研修、D I G（地図上で行う災害時の訓練）などの演習を行ってきました。

平成 22 年度に「札幌市災害時要援護者避難支援モデル事業」の対象地区に指定され、この取り組みを開始。福祉のまち推進センターが中心となり、民生委員・児童委員、地区内にある 17 の町内会・自治会全てが協力して準備を進めてきました。